

松山大学法学部学術講演会

演題：カール・シュミットの憲法理論入門

講師：フロリアン・マイネル氏（ゲッティンゲン大学・法学部・教授）

講演概要

カール・シュミットの遺稿管理人であり、ドイツ憲法学の若手・中堅のホープとして、世界的研究者であるフロリアン・マイネル教授を招聘し、ドイツ公法学にとってのカール・シュミットの意義について、入門的な内容で初学者にもわかりやすいような形で、解説していただく。マイネル教授は、ゲッティンゲン大学でシュミットの日記帳を解読するプロジェクトを主宰しており、シュミット研究の第一人者による最新の研究成果に基づく本邦初公開の内容である。

学生や教職員はもちろんのこと、広く一般市民にも参加を呼びかけたい。

コーディネーター・通訳

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：フロリアン・マイネル教授の略歴

1981年ドイツ・マールブルク生まれ、ベルリン大学で法学を専攻、2010年法学博士（ベルリン大学）、ヴュルツブルク大学教授などを経て、2020年よりゲッティンゲン大学教授

専攻：政治理論・政治思想史、比較憲法

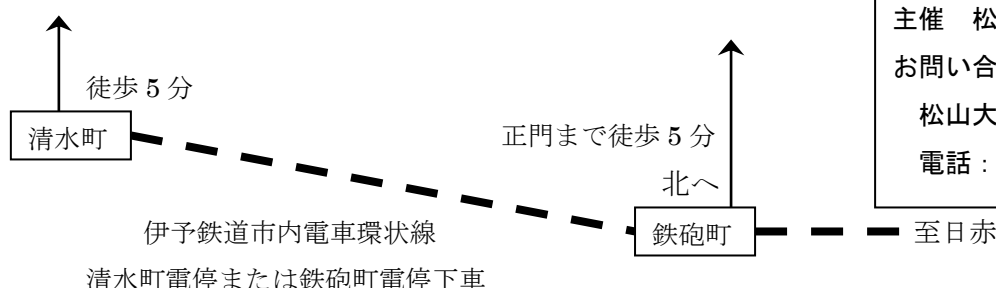
著書：*Germany's Dual Constitution. Parliamentary Democracy in the Federal Republic*, Oxford, 2020, *Selbstorganisationsrecht des parlamentarischen Regierungssystems. Vergleichende Studien zu einem Verfassungsproblem der Bundesrepublik Deutschland*, Tübingen: Mohr Siebeck 2019 他

日時：2025年 10月 14日(火)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館 821番教室



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）